

日本学術会議 循環経済を活かし自然再興と調和する
炭素中立社会への移行に関する検討委員会（第 26 期・第 10 回） 議事要旨

1. 日 時 令和 7 年 3 月 26 日（水）10:00～12:00

2. 会 場 オンライン開催（Zoom）

3. 出欠（敬称略）

出席：城山英明、北島薫、土井元章、岸本康夫、三枝信子、鈴木朋子、森口祐一、
辻佳子、野口和彦、橋爪真弘、松方正彦、

欠席：大塚直、北川尚美、橋本禅、松八重一代

事務局：奥和田久美、新田浩史、角田美知子、齊藤美穂、佐藤有純、

4. 資 料

資料 1：第 26 期循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会第 9 回議事要旨

資料 2：学術フォーラムの開催概要（アンケート結果は非公開、委員限り）

資料 3：第 9 回までの意見、学術フォーラムの場を含む関連分科会や専門家との意見交換等に基づく論点整理

資料 4－1：メッセージの構成の第二次案

資料 4－2：提言本文の構成案と一部の例

資料 5：提言本文作成のスケジュール、今後の進め方

参考資料：参考資料 第 9 回委員会発言録（非公開、委員限り）

5. 議 事

1) 第 9 回議事要旨の確認

第 9 回の議事要旨について森口委員長より説明があり、確認された。

2) 学術フォーラムの開催結果

森口委員長より、資料 2 に基づき学術フォーラムの結果の紹介がなされ、登壇者、参加者の意見も述べられた。

3) 第 9 回までの意見、学術フォーラムの場を含む関連分科会や専門家との意見交換等に基づく論点整理

森口委員長より、資料 3 に基づきこれまでの審議を経緯について説明がなされ、意見交換もなされた。

4) メッセージの構成案および提言本文の構成案について

まず、資料の 4 により、議論のまとめ方整理が成された後、提言の骨子の説明が成され、内容や提言構成の順番等について議論がなされた。

また、一部作成中の本文案も紹介され、これまでの議論の成果と提言の骨子を踏まえ提言本文案を作成していくこととなった。

5) 提言本文作成のスケジュール、今後の進め方

次回は 4 月 16 日に開催されることとなった。